

室町幕府の政治

建武の新政が、2年余りで終わった原因

従来の政治体制を否定し、天皇自らが政治改革を行ったが、政治の仕組みが整わず、社会が混乱したため。

また、

鎌倉幕府と戦った恩賞も、公家や一部の武士を優遇し、武士の不満が募ったため。

南北朝の内乱

足利尊氏が新政に反対して挙兵して、京都に北朝

これに対して、

後醍醐天皇、吉野に南朝

その後、尊氏が征夷大將軍

守護に対し、軍事・警察権に加えて、年貢徴収権を得て、やがて守護大名に成長。

3代、義満、室町幕府をひらく

中央： 管領その下に、侍所、政所、問注所

地方： 鎌倉府、守護・地頭

やがて、

守護大名は、幕府の統制に従わなくなり、

鎌倉公方も幕府と対立するようになり、幕府の統治は安定を失なう

鎌倉幕府との仕組みを比べて、共通点や相違点を説明しよう

	共通点	相違点
鎌倉幕府	侍所（軍事）、政所（行政）、問注所（裁判）	将軍 ↓ 執権（絶対的権力）
室町幕府	同上	将軍 ↓ 管領（限定的権力）